

第 7 号

平成17年2月1日

発 行
岐阜県瑞穂市議会
編 集
瑞穂市議会広報編集委員会

市議会だより



▲寒風も何のその =瑞穂市駅伝競走大会

平成16年第4回
瑞穂市議会
定例会

乳幼児医療費助成 小学校就学前までに拡大 2p

- 長寿者褒賞条例改正案を否決 … 3p
- 5つの特別委員会を設置 … 4p
- 一般質問～市政を問う～(12人) … 6p
- 議員紹介 … 12p

定例会最終日の12月24日、5人の議員から提出された「特別委員会設置に関する決議」を審議した。

瑞穂市議会には所管ごとに4つの常任委員会（総務、産業建設、厚生、文教）があるが、特別委員会は、2つ以上の常任委員会にまたがる事件や、特に重要な案件であるため特別の構成員で審議する必要がある場合などに、議決を経て設置することができる。

所管の常任委員会で調査するのが基本であるが、特に重要な問題を含んでいて、政治的にも大きな影響を及ぼす性質のものは、特別委員会を設置して、新たな観点から慎重かつ専門的な調査をすることもできる。

このような点から特別委員会の設置について、次のような討論があった。

反対 5つの特別委員会で審議する事件は、いずれも所管の常任委員会で審議するので、反対する。

賛成 審議する事件は、いずれも将来の瑞穂市にとって重要な案件であるので、賛成する。

採決の結果、5つの「特別委員会設置に関する決議」は、いずれも賛成多数で可決した。

なお、これらの特別委員会で調査する案件は、いずれも長期的な視点での調査が必要なので、議会が閉会中でも、この調査が終了するまで活動を行うことになる。

これにより、9月議会（平成16年第3回定例会）で設置された「議会改革検討特別委員会」と併せて6つの特別委員会が設置された。

5つの特別委員会を設置

下水道整備促進特別委員会		目的	夢のまちづくりをめざした計画について調査・研究する。
事件	下水道整備事業	目的	市内各地域に適した下水道整備の手法及び整備促進の方策を調査・研究する。
委員の定数	5～8人	（提出の理由）	下水道事業は、快適で潤いのある生活を営むだけでなく、祖先より受け継いだ美しい自然をそのまま子孫へと引き継ぐための重要な役割を果たすものである。
（提出の理由）	下水道事業は、快適で潤いのある生活を営むだけでなく、祖先より受け継いだ美しい自然をそのまま子孫へと引き継ぐための重要な役割を果たすものである。	（提出の理由）	県内の自治体のなかでも下水道の整備が遅れている本市において、その整備促進は急務である。
（提出の理由）	市内各地域に適した下水道整備の手法及び整備促進の方策を調査・研究する目的で下水道整備促進特別委員会の設置を求める決議を提出するものである。	（提出の理由）	（提出の理由）
公共交通対策特別委員会		目的	市内公共交通体系の将来像について調査・研究する。
事件	公共交通対策	目的	災害に強いまちづくりを調査・研究する。
委員の定数	5～8人	（提出の理由）	2町の合併協議会においても検討されてきた経緯をもつてしても、未だ手を付けられた形跡すら見受けられない。このため提案するものである。
（提出の理由）	計画的な土地の再利用・潤いのある水辺の空間造り等が当市に求められているのでは無いでしょうか。	（提出の理由）	市内には、JR東海道本線、樽見鉄道、岐阜バス及びコミュニティバスの公共交通機関が運行されている。
（提出の理由）	車社会となった現在、これで公共交通機関と機能的に結合する道路網整備や周辺地対策も含めた総合的な検討をする必要がある。	（提出の理由）	過去、大きな災害を受けた本市においては、これまで以上に治水対策及び地震対策に傾注することが重要である。災害発生直後の対応はもちろんのこと、災害を拡大しないよう、また、自然災害を人災にしないう事前の対応も必要である。
（提出の理由）	地域防災対策は、市民の生命、身体及び財産を保護する極めて重要な問題である。	（提出の理由）	灾害を拡大しないよう、また、自然災害を人災にしないう事前の対応も必要である。
行政改革特別委員会		目的	地方分権化時代に對応した行政改革について調査・研究する。
事件	行政改革	目的	地方分権化時代に對応した行政改革について調査・研究する。
委員の定数	5～8人	（提出の理由）	過去、大きな災害を受けた本市においては、これまで以上に治水対策及び地震対策に傾注することが重要である。災害発生直後の対応はもちろんのこと、災害を拡大しないよう、また、自然災害を人災にしないう事前の対応も必要である。
（提出の理由）	地域防災対策は、市民の生命、身体及び財産を保護する極めて重要な問題である。	（提出の理由）	災害を拡大しないよう、また、自然災害を人災にしないう事前の対応も必要である。
地域防災対策特別委員会		目的	災害に強いまちづくりを調査・研究する。
事件	地域防災対策	目的	災害に強いまちづくりを調査・研究する。
委員の定数	5～8人	（提出の理由）	過去、大きな災害を受けた本市においては、これまで以上に治水対策及び地震対策に傾注することが重要である。災害発生直後の対応はもちろんのこと、災害を拡大しないよう、また、自然災害を人災にしないう事前の対応も必要である。
行財政改革特別委員会		目的	地方分権化時代に對応した行政改革について調査・研究する。
事件	行財政改革	目的	地方分権化時代に對応した行政改革について調査・研究する。
委員の定数	5～8人	（提出の理由）	過去、大きな災害を受けた本市においては、これまで以上に治水対策及び地震対策に傾注することが重要である。災害発生直後の対応はもちろんのこと、災害を拡大しないよう、また、自然災害を人災にしないう事前の対応も必要である。

訂正とお詫び	
前号の議会だより（11月発行第6号）にて、議会改革検討特別委員の氏名に記載誤りがありましたので、訂正します。	訂正します。
誤 廣瀬捨男	正 熊谷祐子
また、桜木ゆう子議員の一般質問部分で、あたかも本田小学校で音響トラブルがあつたと誤解を与えたかねない記事とのご指摘をいたしました。本文と写真は関係ありません。ご迷惑をおかけした皆さまに訂正してお詫びします。	訂正します。

光ファイバー網の設置を重視

市長公室長

Q 市政情報を開示し、市民参加型の情報を発信するため光ファイバー網の整備を強く望むが、市の考えは。

A 市長公室長 市政情報をできる限り開示することは大きいに賛同できる。しかし、民間会社が積極的に参入している瑞穂市の高速通信網整備を行政が行なう必

Q 市政情報を開示し、市民参加型の情報を発信するため光ファイバー網の整備を強く望むが、市の考えは。

要はないと考える。ソフトの充実を考えたい。

15年度一般会計決算で12億3千万円が残ったが、予算の積算が甘かつたのではないか。甘くなれば、怠慢的な執行でなかつたか。

A 総務部長 15年度の予算編成は、旧町で積算されたものを合算しただけの予算で、見積もりが甘かつた部分はある。また、合併して間もないため執行期間が実質9ヶ月しかなく、投資的経費を執行できない制約もあった。

山田隆義議員

Q 市民のニーズに応え、行政サービスの向上を図るために、業務改善をめざした循環型社会の構築を図るたま、資源エネルギーのISO9001（品質管理）を取得すべきですか。

A 市長 品質管理や環境管理は積極的に考えていかなければならぬ課題であるが、現段階では自分たちの手で取り組んで努力する手段を取ってみたい。

ISOの認証取得は

市長

Q 市長の二ーズに応え、行政サービスの向上を図るために、業務改善をめざした循環型社会の構築を図るたま、資源エネルギーのISO9001（品質管理）を取得すべきですか。

Q 市民税、固定資産税など歳入の動向は。

A 市長 ①市民税、固定資産税など歳入の動向は。建設計画に基づいた最重点事業や大型事業の計画をもう。市の発展と住民の福祉増進のため、中長期展望にたった重点事業で17年度は具体的にどのような事業を推進するつもりか。

Q 17年度予算編成は

A 市長 ②新市建設計画にある計画を10年の期限内にすべて実現するのは非常に厳しい。計画の必要度、重要性を十分吟味し、選択して順次進められる必要がある。17年度の具体的な事業は、コミュニティセンターの建設、幼稚園と保育所の問題、穂積駅周辺の整備、給食センターの統合、穂積小学校の大規模改修などを考えている。

▲大規模改修の調査に入る穂積小学校

▲各家庭に配布予定の防災パンフレット(写真は見本)

Q 市政情報を開示し、市民参加型の情報を発信するため光ファイバー網の整備を強く望むが、市の考えは。

Q 15年度一般会計決算で12億3千万円が残ったが、予算の積算が甘かつたのではないか。甘くなれば、怠慢的な執行でなかつたか。

き、事務を適切に行なつていく。

A 市長 非常にうかつであつた。特定の人物にだけ違反して減免を受けている他の人はともかく、市長は首長に在職していた10年間分を支払うべきではない。

A 総務部長 毎年、減免申請書が提出されていなかったと認めざるを得ない。条例の規定どおり事務を行なうよう厳重注意を受けた。

今後は、納税義務者に申請の必要性をご理解いただき、

保育所・幼稚園の将来構想は 市長 将来は一元化したい



藤橋礼治議員

A 市長 ①規模的に無理がある。幼稚園だけでなく、全体の定員構成を考えなければなりません。

②幼稚園の機能を基本にして保育所機能を付加する方法が良いと思っている。しかし、国の動向に結論が出ないので、これらの検討課題である。

③就学前の子どもたちの教育や保育を考えた全体計画に、私立の考え方や構想も加えて考えたい。



▲5歳児の受け入れをしている穂積幼稚園

Q ①穂積幼稚園は5歳児だけ受け入れているが、3歳児からに拡大してはどうか
②幼保一元化の考えは。
③私立幼稚園との連携、支援は。
④保育所、幼稚園の民営化の考えは。
⑤各小学校区に保育所があるが、生津校区は空白地域となっている。将来的に計画はあるか。

A 市長 ④保育形態の多様性を求めるべば、私立も良い。求め子育て環境により、保護者の選択肢が増えることは良いことである。しかし、全部を民営化するのは危険でいことがあるので、考え方を整理しなければならない。

⑤保育所は、保護者の動向もある。民営化の方法もいろいろあるのに、考え方を整理しなければならない。

上に配置するのが1番良い。

つまり、自宅に近いだけでなく、お母さんがたの職場に保育所をつくるのが1番の理想であると思う。現段階で生津小学校区に新しく保育所を設置する考えは今のところないが、広域的な全体会計画での検討事項である。

保育所を設置する考えは今

のところないが、広域的な全体会計画での検討事項である。現段階で生津小学校区に新しく保育所を設置する考えは今

のところないが、広域的な

全体会計画での検討事項であ

る。

よ

り

る。

県に事前協議している段階 地域防災計画の作成状況は 総務部長



松野藤四郎議員

Q 合併後1年7ヶ月経過しているが、新市の地域防災計画は作成されているか。

A 総務部長 災害に遭が終了したら、防災会議のメンバーを選し、その会議に詰つて正式に策定される。今年度中に作成する予定でいる。

Q 今年は台風や地震による被害が相次いだが、市は被災地にどんな支援活動をしたか。

A 行政推進チーム総括課長 台風関係では、三重県海山区へ市職員2名と社協職員1名を、高山市へ社協職員2名を派遣した。新潟中越地震では、小千谷市と川口町へ2泊3日で社協職員3名を派遣した。また今後、支援活動が速やかに、かつ、継続的に行なえるよう「市職員有志災害支援隊」が市

①規模的に無理がある。幼稚園だけでなく、全体の定員構成を考えなければなりません。

②幼稚園の機能を基本にして保育所機能を付加する方法が良いと思っている。しかし、国の動向に結論が出ないので、これらの検討課題である。

③就学前の子どもたちの教育や保育を考えた全体計画に、私立の考え方や構想も加えて考えたい。

A 市長 ①規模的に無理がある。幼稚園だけでも、全体の定員構成を考えなければなら

ない。
②幼稚園の機能を基本にして保育所機能を付加する方法が良いと思っている。しかし、国の動向に結論が出ないので、これらの検討課題である。

③就学前の子どもたちの教

育や保育を考えた全体計画に、私立の考え方や構想も加えて考えたい。

A 市長 ①規模的に無理がある。幼稚園だけでも、全体の定員構成を考えなければなら

ない。
②幼稚園の機能を基本にして保育所機能を付加する方法が良いと思っている。しかし、国の動向に結論が出ないので、これらの検討課題である。

③就学前の子どもたちの教

育や保育を考えた全体計画に、私立の考え方や構想も

加えて考えたい。

A 市長 ①規模的に無理がある。幼稚園だけでも、全体の定員構成を考えなければなら

ない。
②幼稚園の機能を基本にして保育所機能を付加する方法が良いと思っている。しかし、国の動向に結論が出ないので、これらの検討課題である。

③就学前の子どもたちの教

育や保育を考えた全体計画に、私立の考え方や構想も

加えて考えたい。



▲各家庭に配布予定の防災パンフレット(写真は見本)

議員紹介です

私は現在、議会運営委員長を勤める澤井幸一です。旧穗積町出身で通算して4期目となります。

私は水稻畠作づくりをこよなく愛し、時間ががあれば我が子同様毎日顔が見たくなり、今日はどんな顔をしているのかなー。また明日はどんな姿になつて私を待つてくれるのかなー。毎日毎日の成長する稻が私を待つていてくれる。時には怒ります。

私は水稻畠作づくりをこよなく愛し、時間がなければ我が子同様毎日顔が見たくなり、今日はどんな顔をしているのかなー。また明日はどんな姿になつて私を待つてくれるのかなー。毎日毎日の成長する稻が私を待つていてくれる。時には怒ります。



澤井幸一

まちづくり と稲穂

三年余り前に思ひがけない経験をしました。議会直前の打合せをしていたところ、急に気分が悪くなり、胸がしめつけられ倒れこみました。心筋梗塞でした。



土屋勝義

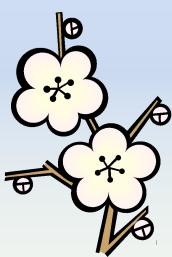
時流遍路

幸いにも、救急隊の敏捷な行動により大垣市民病院に運ばれ、冠動脈ステント手術まで約一時間の速さで処置されました。その結果、何とか以前の健康体を取り戻すことができました。

この時、システム医療の高さを実感いたしました。昭和12年、この地に生まれ70年近くをこの街で過ごしてきました。

自分達がどんな社会を望むかによって、変化の受けとめ方は違つたものであると思います。さて、それがどんな生活様式の変化につながるのか自分でも楽し

みあります。
老兵としては経験を活かして福祉・教育といつた分野で、安心して暮らせる街づくりのお手伝いができればと思っています。



つている稻、笑つてくれる稻、話しかけてくれる稻、稻作は一年に一回しか栽培することができない。工業製品は毎秒何個と作ることができるが、稻作は私が一生のうちに何回栽培できるか、多くて40回か、また稻作は毎年のごとくうまく出来ず、また来年こそはと、毎年思うものであります。

稻作栽培と同様、住民の幸を願い、よりよい種を蒔き大きく立派な姿になるよう頑張っております。

「実るほど頭を垂れる稻穂かな」瑞穂市の繁栄を願うものである。

▼分権の時代、議会の役割と責任はますます重要になります、議会も自己改革がもとめられます、市民の目線で生活者の感覚で市政を監視チェックし政策提言をしていきます。

(山本)

編集後記